

高校生美術セミナー

私は発見する 私は探さない

●実施日程 8月4日～5日

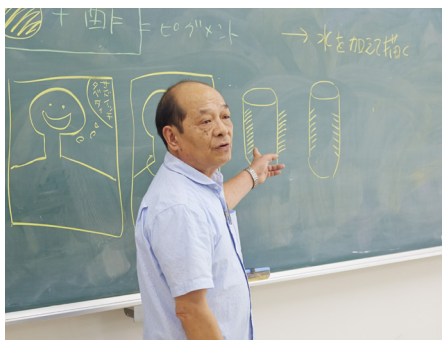
●対象者 兵庫県内の公立高校で学ぶ高校生43名と担当教員5名

美術学科では、芸術・美術に関心の高い高校生に向けた様々な取り組みも実施しています。8月4日(木)～5日(金)には、本学において兵庫県の高校生を対象とした特別美術セミナーを開催。自ら画材を作って制作しながらアートの原点を考える充実した2日間となりました。

兵庫県高等学校教育研究会美術・工芸部会神戸支部の依頼を受けて企画された「夏の美術セミナー」。兵庫県内の高校で美術に打ち込む生徒約50名が、「eARTh～地球(earth)の真ん中にアート(ART)がある」をテーマに、画材から自分で作ってエッグテンペラに挑戦するという斬新なプログラムに参加しました。1日目は顔料やアラビアガム、牛の胆汁などから絵具を、また貝殻やウサギ膠などを使ってキャンパスも作成。2日目は自作の水彩絵具で植物を描き、エッグテンペラで仕上げるとい



うプロセスで作品を完成させました。指導にあたった高田光治教授が、マテリアルとメディウムと作り手の関係、またラスコーの時代から現代に至るアートのあり方などについてもレクチャー。参加した高校生たちも、初めて体験する画材作りやテンペラの技法を楽しみながら、本物にふれることの大切さを再認識していました。



参加した高校生の感想

光永 絢香 さん(伊川谷北高校1年)

初めてエッグテンペラを経験して、とても楽しかったです。講義は難しい内容もありましたが、理解できるように成長していきたいですね。大阪芸術大学にも興味が深まりました。

石丸 友紀子 さん(北須磨高等学校2年)

今まで知らなかったことをたくさん教わり、驚きや発見がありました。空き時間に大学を見学でき、色々な絵や、大学生の方が真剣に取り組む様子を見たのも刺激になりました。

西谷 悠 さん(北須磨高等学校2年)

地球(earth)の中にARTがあるというメッセージや、科学と芸術の話が心に残りました。将来は理系の分野に進みたいのですが、これからもずっと絵は描き続けるつもりです。

平松 望 さん(北須磨高等学校2年)

絵の技術だけでなく考え方も教えてもらえ、もっと描きたいと意欲が高まりました。自分の長所を伸ばしていけばいいとアドバイスされ、自信を持って描こうと思いました。

山崎 あみる さん(北須磨高等学校2年)

卵など身近にある色々な素材を使って自分で画材を作り、それで絵を描くというのが面白かったです。匂いなど市販の画材との違いも体感し、とても新鮮な経験ができました。

高等学校の先生から

櫻木 千恵 先生(神戸鈴蘭台高等学校)

高校ではまずできない内容、そして美術だけでなく歴史もふまえた多岐にわたる講義で、子供たちにとっても大きな経験をさせていただくことができました。今は理解できなくても、美術の道を進めばいつか胸に落ちる時が来る。そのための種を蒔いていただいた気がします。彼らがその種に水や栄養を与え、将来大きく花を咲かせてくれるのが楽しみです。

戸澤 千尋 先生(伊川谷北高等学校)

画材作りやテンペラなど非常に貴重なプログラムを実施していただき、高校生たちも驚きや感動をもって、いきいきと取り組んでいました。高校の授業では、時間的にどうしても段取りの説明や注意が先行してしまうので、技法史など背景となる知識までじっくり話していただけたのは得難い機会でした。今後もまたこうした企画があれば願っています。